



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 肉用牛(黒毛和種)

浅野 晃さん (31歳) (営農地 / 久留米市宮の陣町)

消費者に選ばれる博多和牛ブランドをもっと浸透させたい

《就農のきっかけ》

いつの間にか後継者になっていました

お父さんが肥育牛を経営されていて、小さい頃から周りに牛がいる環境で育った浅野さんは、学生の頃から週末はずっと手伝いをやって(やらされて)いて、高校を卒業する頃には、すっかり自分も肥育牛経営が大好きになっていて、就農するつもりになっていたそうです。

《これまでの過程》

若さと情熱で規模拡大

最初は少なかった牛の数も若さと情熱で規模拡大を繰り返し、今では1,000頭の肥育牛を経営し頑張っています。特徴的なのは、父親の経営を引き継ぐのではなく、父親と一緒に働きながらも、独立した経営として考えていくのが楽しいとのこと。



プロフィール

- 家族構成 / 本人、妻、子ども1人
- 営農年数 / 約10年 ■従業員数 / 父の経営も含めて8名
- 耕作(経営)面積 / 750頭

《これからの展望》

謙虚な姿勢で働いて畑を徐々に拡大

経営規模が大きく年間に数百頭の素牛を買いに日本中を駆けめぐっている浅野さん、「休みは取れないけれど、好きでやっているから苦労には感じない。」とニコニコしながら話してくれました。

また浅野さんには「博多和牛」の美味しさをもっともっと多くの人に知ってもらいたい。」という大きな目標があり、これから、もっともっと規模を拡大していく予定です。

奥さんの涼子さんの実家も肥育牛農家で、浅野さんの勤めもあり涼子さん自ら認定農業者となられ、夫婦で別に(でも一緒に働!)経営していくことを目指しておられます。

晃さんの「お互いが尊敬できる存在でありたい。」という言葉が印象的でした。



Good 成功のためのポイント

年配の方の言われることは大切にすることです。

自分の場合、親が農業で環境が整っていたから就農できたけど、やる気のある新規就農者に対しては自分を含め、いろいろな方面からの支援が必要です。